

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私がこの命の大切さ学習教室で話を聞いて思ったことは、人は必ず"おじいちゃん、おばあちゃんになって、限界まで"生きていけるわけではないということを知りました。そして、自分の納得いく人生を歩むのは、簡単ではない事だと思いました。すべてが思い通りに人生が進んでいくわけもなく、交通事故や火事、自然災害などで"多くの人々が亡くなっているのも、交通事故や火事は、1人1人が予防や気を付けていれば、数人は命を落とすことなく生活できていたのかな、"と思いました。毎日のように見るニュースの〇〇代男性もしくは女性が亡くなりましたと聞くと、"そうなんだ"。と思うだけだったけれど、1人1人の話や文章を読んだり、聞いたりすると、とても話が重く、"そうなんだ"。の一言だけでは済まないような事なんだと思いました。聞いたり、見たりするだけではとても簡単で、被害者の知り合いや家族は心のダメージが大きく自分が死ぬまで"心に残るということが分かりました。これからは自分の命を大切にしたいです。

学校名

湯沢北中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

高橋 ふたは

より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



今回は、命の大切さについての講演を開いてくださりありがとうございました。この講演のおかげでマナーを守る大切さや、命の重さがわかりました。雄宇也さんも、雄宇也さんのご家族の方も、思いもよらぬ事故だったと思います。とっぜん起きた事故のことをくわしくはなしてくださったおかげで、より命の大切さがわかったと思います。雄宇也さんのお母さんが言った、「人が人と思いやると交通事故をなくすことができる」という言葉が心にひびきました。失った命は二度ともどってはこないし、過去にもどれるわけでもないからおたがいに思いやることが大切だと思いました。命はお金で買うこともできなくて、なによりも大事なものであるから、私ももっと大切にしなければいけないと思いました。これからは、命を粗末にする言葉を絶対に使わないようにしたり、何気ない日々を大切に過ごしたり、交通ルールを守ったりして、過ごしていきたいです。今回は、本当にありがとうございました。これからもがんばってください。

学校名

湯沢北中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

西野 結吉 夏 より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



命の大切さ学習教室に参加して、事故というのは、いつ、どこで起こってもおかしくないということが分かりました。自分がもし事故にあったとしたら、たくさんの人が、悲しんだり、苦しむことが分かりました。自分の周りの人が亡くなったとき、悲しさだけでなく、これから私どうすれば良いのだろうと、少しこわくなりました。お母さん、お父さんというのは、自分にとって、勇気をあたえてくれる、かけがえのない存在だと改めて思いました。また、私を支えてくれたり、こまっているときよりそってくれる存在だと思いました。これからも、命を大切に、私を産んでくれたことに感謝して、生活していきたいです。今日は本当にありがとうございました。

学校名

湯沢北中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

佐々木 桃子 より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



雄宇也くんのお母さん、今日はお話を聞かせてくださり、本当にありがとうございました。前日、命のパネルを友達と一緒に見ました。写真を少し見ただけなのに、この子がどんな日常を送ってきたのか、生きていたらどんな大人になったのかを想像してしまて、2人で泣きました。そのとき、具体的にどんな気持ちだったのかははっきりわかりませんが、「生きていてほしかった」という思いがあったのは確かです。そして今日、改めて雄宇也くんの7年間を知り、思い、こうして手紙に気持ちを書いています。あと何百枚書いても表せないであろう私の思いを、こうしてまとめていきます。お話を聞いてから、つらいことを思い出しても「誰かが生きたかった明日」と考えると、世界がとても鮮やかに見えてきます。雄宇也くんのお母さん、今回のお話は、自分の人生や命、思いについて考えるとても良い機会となりました。だからこれからも、この活動を続けていってくださるでしょうか。改めて今日は本当にありがとうございました。

学校名

湯沢北中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

伊藤 楓

より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



今日僕は、命の大切さ学習教室で今生きる幸せをあらためて感じました。僕は、ときどき自分の命について考えます。命について、考えるとなぜか悲しい気持ちになります。それは、きっとまだやりたいことがたくさんあるからだと思います。人間はつねに自分の事をよく考えるのですが、時には自分の行い重たで誰かを傷付けているのではないかと考えると思います。だから人は自分のまちがいを反省できる人だと僕は考えます。今日の命の大切さを通して僕は、ある時と必ずあるかわからない明日を誰かのためにいっしょうけんめい生きたいです。そして、今あたりまにいてくれる親に感謝を伝えて、いつなくなるかわからない幸せをつかむために、安全に気をつけたり、他の人のことも自分の事のように思い、事故などで苦しむ人が少しでも減らすために今の自分にできる事を考えて毎日を幸せにこうかいのないように日々、命を大切にしていきたいです。今日は講演ありがとうございました。これからも、いろいろな人の気持ちを伝えてください。

学校名

湯沢市立湯沢北中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

木村 蒼空斗

より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



今日は命の大切さ学習教室をひらいてくださりありがとうございます。今日の学習教室で学んだことは3つあります。1つ目は命の大切さについてです。命は、お金で買えないとても大切なものだということです。私たちがいますよしている毎日の生活があたりまえではないこと、命が1度でもなくなってしまうと、もどらないということが分かりました。2つ目は、車の責任についてです。車は、身近でとても便利な物ですが、車のハンドルをにぎることは、責任をもつということもあるということを知りました。3つ目は、命に感謝することです。今日の学習で、私を命がけでうみだしてくれたお母さん、いままで、私を大切に育ててくれた、お父さんや家族といっしょにすごせたり、私がうまれたことはあたりまえではないことを学びました。私をうんでくれたお母さんや家族に感謝したいです。今日の学習をふまえて、命の大切さを、育ててくれた親や家族にたいする感謝を忘れないでこれから生きていきたいです。

学校名

湯沢市立湯沢北中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

草薙 美心 愛 より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



今日、命の大切さ学習教室に参加して、命の大切さや家族や友達の大切さもくわしく学ぶことができました。この話を聞いて交通事故はいつどこで何かおこるか分かりないうし、家族や友達も事故に巻き込まれるかも知れないから今を大切に生きたいです。また、けんかをしてもおこっていても死ぬなどの言葉は言えないようにしたいです。どれもけつらなくてもなくなってしまうと嫌もどきもできないし、楽しいこともなにもかもうできなくなってしまうのでがんばって生きられなかった人のぶんまでいきたいです。命はお金でも買えないし何個もあるわけがないので自分の命も友達、家族の命も大切にしたいです。おとなになってもずっと今日あった命の大切さについて忘れずに生きていきたいです。そして、命の大切さについて家族や友達の人も伝えたいです。今日、は命の大切さについて、いろいろなことを教えてくれてありがとうございました。

学校名

湯沢市立北中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

菅澤 隼奈 より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



この教室を開いていただき、ありがとうございました。

私は、このお話を聞き、命の重みについて考えました。日ごろ、気軽に言っている言葉をよく聞きます。その言葉の意味がどれだけの重いことなのか、を改めて分かりました。

また、何気ない、あたり前と思っていた日々が、決してあたり前ではないことも分かりました。一度なくなってしまう命はもうもどきません。そんな事を改めて考えると、これからの生活、発言に気を付けたいです。

この幸せが、この世で今生きていることが、本当に「きせき」だと感じました。毎日、家族や友達とあいさつを交わしている事が、ふつうではありません。

これから私は、「今」を大切にしたいです。生きていて、うれしい事はばかりではなく、おこたり、悲しんだりする時もあります。それでも、その気持ちを大切にしたいです。それが「生きている」という事だと考えたからです。

この教室で聞いた事をむだにせず、他の人に共有したりして、考えを深めていきたいです。

学校名

湯沢市立湯沢北中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

佐藤 愛咲

より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。

私は、今日の話を聞いて、「悲しい」だけでは本当に表すことのできない話だと思いました。今、私達は何事もなく生きていますが、5年生の子が言ったように、亡くなった人達が生きたかった日だと思いました。雄宇也くんが事故にあうということはだれも想像していなかったと思います。まだ7年しか生きていない、これから楽しいことがたくさんあるはずの人生が、たった1つの事故ですべて失われてしまったことが悔しいです。うばわれた命は絶対、一生もどってこないのに、加害者は笑っていられるのがありえないなと思いました。1人亡くなっても悲しむのは1人ではなく大勢いると分かりました。これからは、いつ、どこで、だれが起きるか分からない事故や犯罪、そしていつなくなるか分からないとても大切な命を大事にしていきたいです。そして日々の「ありがとう」や「行きます」という言葉も大事にしていきたいです。今日は、命の大切さ学習教室を開いていただき、本当にありがとうございました。

学校名

湯沢市立 湯沢北中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

今野 希愛

より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



今日は、私たちのために、「命の大切さ学習教室」を開いてくださりありがとうございました。「命の大切さ学習教室」に参加して、あらためて、命はたった1つしかなく、とても大切なものだと思いました。「いってきます」と言って元気に登校した雄宇也くんの「ただいま」がいつになっても聞こえないのは、とても辛いことだと思います。なくなった命は、どこにも売っていないし、買うこともできないから、たった1つの命を大切にしないといけないと分かりました。自分の命は自分で守ることはもちろん、家族の命や他人の命も大切にしていこうことが必要だと分かりました。交通事故はいつ起こるか分からないから、日々交通安全を守って生活したいです。また、生活していく中で、軽々しく「死ね」などの言葉を絶対に使わず、使っている人がいたらすぐに注意をしたいです。命の大切さをもっとみんなに理解してもらうために、ぜひ、これからも「命の大切さ学習教室」を続けてください。

学校名

湯沢市立湯沢北中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



ぼくは、命の大切さの学習教室に参加して、今まで以上に命の大切さを実感し、大切にしていきたいと思いました。実際に話を聞いて、関わりのある人の命がうしなわれることの悲しみが、とてもよく伝わりました。そして、ぼくが思っていた以上に、生活が変わると思いました。また、現実を受けとめられないくらい悲しいということも少し聞いたことがあったけど、本当なんだなと思いました。話を聞き、改めて命の重みを実感しました。なので、これから、命は買えないし、もどってこない、ゲームのように生き返ることもないという重みを理解し、意識して、生活していきたいです。また、命をうしなわないうしなわせないためにも交通ルールをしっかり守って、日々生活していきたいです。そして、このたった一つの命を生み、育ててくれた親に感謝の気持ちも忘れず、生活していきたいです。

熊谷さんが交通事故について話してくださったおかげで、命の大切さ、重みを再確認することができました。家族、友達が命をうしなわなことの悲しみもとてもよくわかりました。熊谷さん、話すことがつらいこともあったと思いますが、そのおかげで命の大切さを確認することができました。ぼく達のために話をしてくださり、ありがとうございました。

学校名

湯沢市立湯沢北中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

より